

令和7年度 学校評価計画書

学校名

三田市立学園小学校

1 学校教育目標

『仲良く 元気に がんばる子』
～自らをみがき 未来をひらく こころ豊かな児童の育成～

2 今年度の学校重点目標

- ①確かな学力の育成
→学習指導の工夫・改善、体験活動の充実、学びの環境の整備
- ②特別支援教育の充実と推進
→個に応じた指導・支援体制の充実、保護者との連携
- ③生徒指導の充実
→組織的な生徒指導体制の構築、児童理解に基づく生徒指導
- ④人権教育・道徳教育の深化・充実
→いじめの未然防止・早期発見・早期対応、道徳性の育成、特別活動の充実
- ⑤防災教育・健康・安全の充実
→計画的な防災訓練等の実施、規則正しい生活の推進
- ⑥社会に開かれた教育課程の推進
→学校運営協議会、学校支援ボランティア、地域の学校との連携、小中一貫教育の推進、地域交流の活性化
- ⑦心身の健康と風通しの良い職場風土の構築
→教職員の勤務時間の適正化の推進、協力体制（情報共有と報・連・相・確認の徹底）、コンプライアンスの遵守

3 自己評価項目

分野・領域	評価項目（取組内容）
教育課程	教育課程の編成（週時程・日課表・行事等）は適切である。
	各教科・領域における授業時数は適正に確保できている。
学習指導	児童が主体的に学習に取り組める授業を展開できている。
	個に応じた授業の工夫ができている。
	読み・書き・計算の基礎的な学力をしっかりと身につけさせている。
生徒指導 (生活指導)	学校の決まりやマナーを児童が身につけるように教職員で共通理解し指導している。
	児童がすすんであいさつできるように指導にあたっている。
	いじめや不登校の問題に対して見逃すことなく組織的に対応している。
開かれた学校・ 地域・保護者と の連携	学校教育目標を理解し、家庭・地域・社会とつながる教育を推進している。
	保護者や地域の方の情報や願いを聞く機会を積極的に持っている。
	PTA・学校支援ボランティアとの連携により、教育環境整備を行い、地域の核となる学校づくりをすすめる。